

秋田工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	建築デザイン演習 I	
科目基礎情報							
科目番号	0001			科目区分	専門 / 必修		
授業形態	演習			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	創造システム工学科 (土木・建築系)			対象学年	2		
開設期	前期			週時間数	2		
教科書/教材	プリント配布						
担当教員	鎌田 光明						
到達目標							
1. 建築設計で用いる基本的な製図方法と図面のきまり、表現方法を修得する。 2. 図面特有の情報伝達機能を修得する。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1		建築設計で用いる基本的な製図方法と図面のきまり、表現方法を理解し、説明できる。	建築設計で用いる基本的な製図方法と図面のきまり、表現方法を理解できる。		建築設計で用いる基本的な製図方法と図面のきまり、表現方法を理解できない。		
評価項目2		図面特有の情報伝達機能を理解し、説明できる。	図面特有の情報伝達機能を理解できる。		図面特有の情報伝達機能を理解できない。		
学科の到達目標項目との関係							
(B)工学基礎知識の習得 B-2 (E)技術の発展 E-1							
教育方法等							
概要	建築設計で用いる基本的な製図方法と図面のきまり、表現方法を修得し、図面特有の情報伝達機能を修得する。						
授業の進め方・方法	各課題のはじめに授業を行い、演習形式を中心に行なう。提出物が合格点に達しない場合、再提出を課すことがある。						
注意点	合格点は50点である。総合評価は、評価課題の平均をとり100%とし総合的に行なう。特に、課題の未提出者は単位取得が困難となるので注意すること。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	授業ガイダンス ①製図用具とその使い方		基本的製図用具の種類と使い方が説明できる。		
		2週	②製図に用いる線の種類		製図用の線の種類と用法を理解し説明できる。		
		3週	③製図に用いる文字の書き方		製図用の文字の用法を理解し説明できる		
		4週	④投影図法の基礎		投影図法の基礎を修得し描ける。		
		5週	④投影図法の基礎		投影図法の基礎を修得し描ける。		
		6週	⑤建築図面の構成と立体表現の基礎		透視図の基礎を修得し描ける。		
		7週	⑤建築図面の構成と立体表現の基礎		透視図の基礎を修得し描ける。		
		8週	⑤建築図面の構成と立体表現の基礎		透視図の基礎を修得し描ける。		
	2ndQ	9週	⑥一点透視図法の基礎		室内を想定した一点透視図法を修得し描ける。		
		10週	⑥一点透視図法の基礎		室内を想定した一点透視図法を修得し描ける。		
		11週	⑦二点透視図法の基礎		建物の外観を想定した二点透視図法を修得し描ける。		
		12週	⑦二点透視図法の基礎		建物の外観を想定した二点透視図法を修得し描ける。		
		13週	⑧建築外観パース		建築の外観の構成を理解し、パースをフリーハンドで描ける。		
		14週	⑨建築内観パース		建築の内観の構成を理解し、パースをフリーハンドで描ける。		
		15週	⑩街並みスケッチ		街並みの構成を理解し、フリーハンドで描ける。		
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
専門的能力	分野別の専門工学	建設系分野	製図	線と文字の種類を説明できる。	3	前2,前3	
				平面図形と投影図の描き方について、説明できる。	3	前4,前5	
				図の配置、尺度、表題欄、寸法と寸法線の規約について、説明できる。	3	前4	
		建築系分野	設計・製図	製図用具の特性を理解し、使用できる。	3	前1	
				線の描き分け(3種類程度)ができる。	3	前2	
				文字・寸法の記入を理解し、実践できる。	3	前3	
				図面の尺度・縮尺について理解し、図面の作図に反映できる。	3	前5	
				立体的な発想とその表現(例えば、正投象、単面投象、透視投象などを用い)ができる。	3	前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15	
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計

総合評価割合	0	0	0	0	100	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	40	0	40
専門的能力	0	0	0	0	40	0	40
分野横断的能力	0	0	0	0	20	0	20